

KSN 通信 VOL.26

こんにちは。いつも当社をご利用いただきましてありがとうございます。

6月に開幕したW杯2010南アフリカ大会！岡田ジャパン、決勝トーナメント進出するなど大健闘でした。デンマーク戦では、早朝にもかかわらず最高視聴率 40%を記録したそうです。中には、道頓堀川に飛び込む人も！今回は、惜しくもベスト8進出を逃してしまいましたが、どの試合も素晴らしい戦いぶりを感じてもらいました。

さて、今月は、当社のニュースと取組みなどをお知らせします。

KSNのニュース

処理品目に「汚泥」などを追加！

このたび、当社の産業廃棄物処分量の取り扱う種類として新たに「汚泥」「廃酸」「廃アルカリ」（食品系廃棄物に限る）を追加いたしました。

これまで「動植物性残渣」、「木くず」2種類のリサイクル処分が可能でしたが、新たに上記の3種類を追加したことで、より多くの種類の廃棄物をリサイクルすることが可能となりました。

詳細につきましては、当社にお気軽にお問い合わせください。



汚泥



廃酸・廃アルカリ

KSNの取組み

新たな「食品資源循環モデル」構築に向けた取組み(第2弾)！

炭化によって食品資源から得られる炭は、食品リサイクル法では、サーマル材(燃料等)としての利用が認められています。一方、弊社では、炭の材料利用(農業など)による地表炭素の削減(カーボン・シンク)を実現するため、さまざまな取組みを行っています。

6月の環境月間にあわせて、弊社の取引先事業者様主催で行われた「食品リサイクル活動」をテーマにしたイベントにおいて、炭の材料利用のモデル検証の一環として、一般消費者を対象に、パネル展示や炭を用いて栽培した作物(トマト)の紹介などを行いました。

今後、このような取組みを通じて得られた成果

をもとに、炭の材料利用に向けて、関係する行政機関などへ提言していきたいと考えています。

→パネル展示
(右写真)



ちよこっとニュース

早起きは“CO₂削減の得”

環境省は、朝の早起きを二酸化炭素(CO₂)削減につなげる活動「朝チャレ！(朝型生活にチャレンジ)」を立ち上げました。

朝チャレ！は、温暖化防止と健康対策の観点から生活習慣を見直す試み。起床と就寝時間を早めることで、エアコンやテレビなど夜間の無駄な電力消費を抑制することを狙うものです。

家庭での照明をはじめ、テレビやエアコンの使用時間を1時間減らすと、年間1世帯当たり約165kgのCO₂削減できるそうです。

1日のスタートである朝が充実すると生活にメリハリができて、毎日をさわやかに過ごすことができます。今年の夏は涼しい時間を利用して、爽やかな朝型生活を始めてみませんか？



工場のように

◆今月の食品および木質廃棄物の受入量

産業廃棄物	67.8%
一般廃棄物	32.2%

(H22.6.28 現在)